

## 三河商人道

PART  
176(有)びさん仏壇店  
坂田 佳樹 君青年部とは  
社交の場

## 【会社・仕事への思い】

明治28年、知上市牛田の地でひいお祖父さんが創業され、120年の長い歴史を持つびさん仏壇店は昭和初期に岡崎へ移転してきました。会社を継ぐことは子供の頃から言い聞かされており、当然のこのように仏壇屋になったそうです。名古屋工業大学社会開発工学科を卒業後、リクルートに就職し名古屋で2年間勤務しましたが、結婚と同時期にリクルートを退社。修行に出て、そこで箔や製造についてみっちり学んだとのこと。販売だけでなく修理メンテナンス、いわゆる「仏壇の洗濯」も自社で行います。仏壇の洗濯は釘を一本ずつ外して、塗り直し金箔を貼り直す。そしてまた組み立てる。大きいものだと3か月もかかるそうです。業界全体が尻すぼみの状況の今、売るだけでなく、そういったメンテナンスにも更に力を入れていきたいと、今後について話されていました。

## 【青年部に入会されたきっかけ】

平成7年、子供も生まれ落ち着いた頃に、磯部亮次先輩(磯部ろうそく)と夜お酒を飲んでいる席で誘われたとのことで、ちょうど修行から帰ってきて、岡崎の地で色々な人とのつながりを新たに作りたかったこともあり、入会するきっかけとなったそうです。

## 【思い出に残る青年部活動】

入会して初めての委員会は広報委員会。当時YEG新聞を月に一度発行する活動があり、メンバーの会社などで夜遅くまで、手書きで頑張って作成したのは今でもよく覚えているとのこと。平成8年、入会して2年目のビジョン委員会では委員長を務めました。そうそうたる先輩方で構成された委員会メンバーの中で大変だったが、とても面白かったと振り返る坂田さん。若さを生かし委員長として色々なことをやろうとチャレンジしました。もしかしたら周りの人からやり過ぎだと思われたかもしれないが、自分としてはやり切ったという充実感を得られた1年だったそうです。そして、平成14年にも街づくり委員会の委員長に。自分がYEGに誘った前期委員長の藤井浩久さん(フジビニール)から、エコジャン事業を引き継いだとのことでした。坂田さんの義理堅い一面も垣間見ることが出来ました。

## 【趣味など】

趣味の質問には、特にないかなあとのこと。ただこのYEGのような活動をはじめ、現在はPTA活動、消防団活動にも参加されており、そういった地域のネットワークに参加することが趣味かもしれないと仰っていました。

## 【青年部とは・・・】

「青年部での活動を通して、岡崎の名だたる人と知り合うことができた。それまで交流できなかった人とも交流でき、今でも街で出会えば挨拶してもらえる。そんな社交の場だね」とのこと。また「輪の中に入りやすい雰囲気を作って色々な人と知り合ってほしい。そして若い人が育つような団体であってほしい」と我々後輩にもエールを送って頂きました。



取材担当/  
創生委員会  
内田浩史、久山博永、  
加藤浩晃、磯部晃作、  
中根邦博、阿知和司、  
小笠原弘樹、小林正和、  
野々山育成、加藤静真